



臨床研究支援センターでは、新規治験に関する「治験実施可能性調査」「Feasibility調査」を受け入れています。
各診療科の先生方へお声がけし、調査への回答依頼をお願いしております。 治験促進のためご協力よろしくお願い申し上げます。

8月より事務部門へ新しいスタッフが着任されました

山口 俊太郎 研究支援課研究企画係長



8月1日付けで研究支援課研究企画係に配属となりました 山口 俊太郎 と申します。
研究支援業務に従事するのは今回が初めてで戸惑うこともありますが、研究支援課をはじめ周囲の方々から温かい支援を得て業務を行っております。

治験は人々の生活の質を向上させるために大学が取り組む重要な業務です。治験業務が円滑に進み、患者さんの将来の治療がより充実するよう日々努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

今年度4月から現在まで新しく開始された治験一覧

その他募集中の治験に関しましては、当センターホームページをご参照ください

疾患名	剤形	診療科	責任医師	エントリー状況
非アルコール性脂肪肝	機器	消化器内科	澤田医師	○
クローン病	注射	消化器内科	藤谷医師	終了
小細胞肺癌	注射	呼吸器内科	佐々木医師	○
進行性/転移性非小細胞肺癌	注射			○
転移性非小細胞肺癌	注射			○
慢性閉塞性肺疾患	注射			終了
転移性去勢抵抗性前立腺癌	内服	泌尿器科	堀医師	○
中枢神経原発悪性リンパ腫 ※	内服	脳神経外科	木下医師	○
重症下肢虚血 ※	機器	血管外科	菊地医師	○
乳がん ※	機器	乳腺外科	北田医師	○

※ 医師主導治験

第24回CRCと臨床試験のあり方を考える会議2024 in Sapporo

毎年恒例のCRCと臨床試験のあり方を考える会議が、9月15日～16日にかけて札幌市で開催され、当センター一同で参加し、プログラム委員を務められた神山教員、発表者である堀CRCよりコメントいただきました。

今回札幌での会議代表を務められた北大の佐々木由紀さんからプログラム委員を拝命し、1年間内容について議論しました。

シンポジウムのオーガナイザーを経験させていただきだけでなく、テーマに『未来予想図Ⅱ』を入れてくるほどの代表の北海道愛に満ちたおもてなしが詰まった年会運営にも学ぶところが多かったです。

過去最高の登録者数という記録だけでなく、参加者の記憶に残る年会でした。 神山 直也



「被験者組み入れ促進を目指した地域フリーペーパーへの被験者募集広告の工夫」

という演題の発表を行いました。自身が担当していた同一試験で複数回、フリーペーパーに被験者募集広告を出す機会があり、広告に対する問い合わせ件数に変化が見られたことが、この演題を選んだきっかけでした。広告のデザインや掲載枠の大きさを変えることで反響が大きく変わり、結果として被験者の組み入れにつながった事例をスライドにまとめ、口頭で発表を行いました。

発表後、他施設のCRC様から数件質問をいただきました。発表内容に関心を寄せていただこうしかったとともに、質問を通して他施設の状況を知ることができたことも、有益な経験となりました。

今回の発表での学びを、今後の業務にも活かしていきたいと考えます。 CRC 堀 康子



ご意見・要望等は、臨床研究支援センターまでご連絡ください。
(内線: 3487 / E-mail: crc-all@asahikawa-med.ac.jp)